



# 平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社インターアクション  
コード番号 7725 URL <http://www.inter-action.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木地 英雄  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 木地 伸雄

TEL 045-788-8373

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	407	△11.6	△30	—	△33	—	11	△72.8
26年5月期第1四半期	460	90.0	83	369.2	85	275.6	40	△56.7

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 12百万円 (△67.4%) 26年5月期第1四半期 39百万円 (△58.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	1.11	—
26年5月期第1四半期	4.06	4.05

(注) 当社は、平成25年12月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第1四半期	4,754	2,363	49.7	235.88
26年5月期	3,595	2,402	66.8	239.61

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 2,363百万円 26年5月期 2,400百万円

(注) 当社は、平成25年12月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,100	7.9	50	△70.2	40	△77.2	37	△68.8	3.69
通期	3,100	23.4	430	2.5	410	△0.2	381	19.3	38.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 株式給付ESOP信託口が所有する当社株式数を反映した期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社エア・ガンズ・テクノス、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	10,052,100 株	26年5月期	10,052,100 株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	33,100 株	26年5月期	33,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	10,019,000 株	26年5月期1Q	10,050,500 株

(注)1. 当社は、平成25年12月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

2. 当社は、株式給付信託型ESOPを導入しており、株式給付ESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により、円安傾向が続き、企業業績の回復、労働需要の高まりから雇用情勢が改善され、景気は緩やかな回復傾向を続けております。当社グループの主要取引先である半導体メーカーにおいては、一部の顧客でスマートフォンやタブレット端末向け製品の設備投資が一巡し、中長期的な設備投資には慎重な姿勢が見られました。このような状況の中、当社グループは、最小限の組織体制とコスト構造を維持しつつ、設備投資需要の取り込みを図る活動を継続いたしました。

当社グループの主力製品であるCCD及びC-MOSイメージャ向け検査用光源装置の実績につきましては、瞳モジュールの受注は堅調に推移しましたが、光源装置本体の受注は鈍化いたしました。太陽光発電関連製品につきましては、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」による太陽光発電システムの需要を見込み、遊休地等の活用のため商品化した「OHISAMA SYSTEM」の拡販に注力いたしました。環境関連製品につきましては、装置の販売とメンテナンスサービスがほぼ計画どおりに推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は407百万円（前年同四半期の売上高460百万円に比し、11.6%の減少）、売上高の減少及び売上製品の構成差等により、売上総利益は134百万円（前年同四半期の売上総利益285百万円に比し、52.8%の減少）、営業損失は30百万円（前年同四半期は営業利益83百万円）、支払利息等を加減した経常損失は33百万円（前年同四半期は経常利益85百万円）、繰延税金資産の増加による法人税等調整額等を加減した四半期純利益は11百万円（前年同四半期の四半期純利益40百万円に対し、29百万円の利益減少）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

#### (光源装置)

当社グループの主力製品であるCCD及びC-MOSイメージャ向け検査用光源装置につきましては、スマートフォンやタブレット端末向けCCD及びC-MOSイメージャ検査装置に使用される瞳モジュールの受注は堅調に推移しましたが、スマートフォン、タブレット端末及びデジタルカメラ向けCCD及びC-MOSイメージャ検査に使用する光源装置本体の受注は鈍化いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は60百万円（前年同四半期の売上高372百万円に比し、83.9%の減少）、セグメント利益は21百万円（前年同四半期のセグメント利益230百万円に対し、208百万円の利益減少）となりました。

#### (太陽光発電関連製品)

太陽光発電関連製品につきましては、連結子会社である株式会社BIJにおいて「OHISAMA SYSTEM」の出荷が堅調に推移したことから、前年同四半期に比し大幅な増収増益となりました。連結子会社であるおひさま農場株式会社におきましては、前連結会計年度に稼働したメガソーラーをはじめ、固定価格買取制度に基づく売電収入は堅調に推移いたしました。

また、大洋州諸島地域でのクリーンエネルギー事業におきましては、平成26年4月にプロジェクトが完了しましたソロモン諸島向けソーラーホームシステム2000台の導入実績が評価され、ソロモン諸島政府の要請により、平成26年7月に追加導入に関する覚書を締結いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は175百万円（前年同四半期の売上高86百万円に比し、102.2%の増加）、セグメント利益は16百万円（前年同四半期はセグメント損失41百万円）となりました。

#### (環境関連製品)

株式会社エア・ガズ・テクノスの連結子会社化により、当第1四半期連結累計期間から新設した環境関連製品につきましては、乾燥脱臭装置、排ガス処理装置の販売及びオフセット輸転機関係のメンテナンスサービスが、堅調に推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は171百万円、セグメント利益は24百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,158百万円（うち、連結子会社の増加分766百万円）増加し、4,754百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,163百万円（同741百万円）増加し、3,863百万円となりました。これは、現金及び預金が215百万円（同81百万円）、受取手形及び売掛金が310百万円（同425百万円）並びにたな卸資産が533百万円（同220百万円）それぞれ増加したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ4百万円（同24百万円）減少し、890百万円となりました。これは、連結子会社の増加によりのれんが

208百万円増加したものの、機械装置222百万円を製品に振り替えたことによる減少があったこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,197百万円(同560百万円)増加し、2,391百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が436百万円(同444百万円)増加し、社債及び借入金が688百万円純増したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ38百万円減少し、2,363百万円となりました。これは、四半期純利益11百万円を計上したものの、前事業年度の期末配当金50百万円による利益剰余金の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、連結経営成績については概ね計画どおり推移していることから、現時点におきましては、平成26年7月11日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想について変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、株式会社エア・ガシズ・テクノスの全株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,571,494	1,787,348
受取手形及び売掛金	409,088	719,250
営業投資有価証券	255,599	255,599
商品及び製品	29,007	259,159
仕掛品	85,165	408,463
原材料及び貯蔵品	155,310	135,048
その他	200,620	304,266
貸倒引当金	△6,716	△5,764
流動資産合計	2,699,570	3,863,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	229,511	227,287
土地	133,362	133,362
その他(純額)	460,771	234,052
有形固定資産合計	823,645	594,703
無形固定資産		
のれん	—	208,328
その他	7,590	7,106
無形固定資産合計	7,590	215,435
投資その他の資産		
投資有価証券	236,878	236,878
その他	83,873	100,932
貸倒引当金	△256,163	△257,051
投資その他の資産合計	64,588	80,759
固定資産合計	895,824	890,898
資産合計	3,595,394	4,754,271
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,576	482,243
短期借入金	20,000	260,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	141,432	227,247
未払法人税等	33,541	42,716
賞与引当金	—	14,855
製品保証引当金	2,665	12,371
移転費用引当金	—	12,000
その他	141,086	159,806
流動負債合計	424,301	1,251,240
固定負債		
社債	150,000	140,000
長期借入金	540,417	913,585
株式給付引当金	1,638	1,638
退職給付に係る負債	7,604	28,781
その他	69,320	55,774
固定負債合計	768,980	1,139,779
負債合計	1,193,281	2,391,020

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,982	610,982
資本剰余金	1,537,028	1,537,028
利益剰余金	270,904	231,774
自己株式	△17,704	△17,704
株主資本合計	2,401,211	2,362,081
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△4,990	△5,364
為替換算調整勘定	4,401	6,533
その他の包括利益累計額合計	△588	1,169
新株予約権	1,490	—
純資産合計	2,402,113	2,363,251
負債純資産合計	3,595,394	4,754,271

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	460,952	407,458
売上原価	175,890	272,915
売上総利益	285,062	134,543
販売費及び一般管理費	202,002	164,994
営業利益又は営業損失(△)	83,059	△30,450
営業外収益		
受取利息	220	477
受取配当金	101	102
貸与資産賃貸料	9,375	3,325
為替差益	—	807
その他	3,340	2,216
営業外収益合計	13,037	6,930
営業外費用		
支払利息	3,665	5,877
為替差損	4,256	—
貸与資産諸費用	2,494	2,682
その他	678	969
営業外費用合計	11,095	9,528
経常利益又は経常損失(△)	85,001	△33,048
特別損失		
固定資産除却損	2,276	36
特別損失合計	2,276	36
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	82,725	△33,085
法人税、住民税及び事業税	13,359	15,604
法人税等調整額	28,544	△59,812
法人税等合計	41,904	△44,208
少数株主損益調整前四半期純利益	40,821	11,122
四半期純利益	40,821	11,122



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	40,821	11,122
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	△373
為替換算調整勘定	△1,334	2,131
その他の包括利益合計	△1,334	1,758
四半期包括利益	39,487	12,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,487	12,880
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光源装置	太陽光発電 関連製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	372,739	86,863	459,602	1,350	460,952
セグメント間の内部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—
計	372,739	86,863	459,602	1,350	460,952
セグメント利益又は損失(△)	230,329	△41,768	188,560	398	188,959

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「画像検査装置」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	188,560
「その他」の区分の利益	398
全社費用(注)	△104,215
たな卸資産の調整額	△1,683
四半期連結損益計算書の営業利益	83,059

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 2	合計
	光源装置	太陽光発電 関連製品	環境関連製 品(注) 1	計		
売上高						
外部顧客への売上高	60,175	175,605	171,677	407,458	-	407,458
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	60,175	175,605	171,677	407,458	-	407,458
セグメント利益	21,354	16,962	24,404	62,721	-	62,721

(注) 1. 当第1四半期連結累計期間において、環境関連製品事業を営む株式会社エア・ガシズ・テクノスの全株式を取得し、連結子会社としたことにより、「環境関連製品」セグメントを新設しております。また、同社の連結子会社化により「環境関連製品」のセグメント資産が974,466千円増加しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「画像検査装置」であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	62,721
「その他」の区分の利益	-
全社費用(注)	△91,271
たな卸資産の調整額	△1,900
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△30,450

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結累計期間において、株式会社エア・ガシズ・テクノスを連結子会社としたことに伴い、「環境関連製品」セグメントにおいて210,079千円のものれんを計上しております。